



こくろうよなご

第21号

2025年7月10日

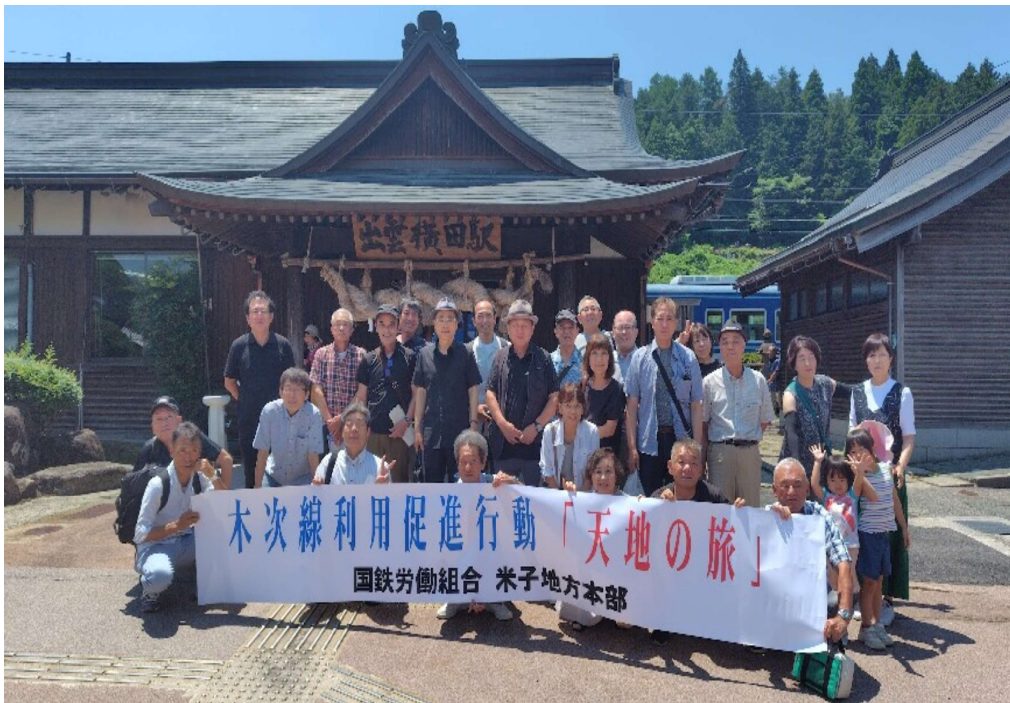
発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

地元で愛される木次線を実感！！

観光列車「天地の旅」・沿線のあちらこちらで！



6月29日、国労米子地本は「地域公共交通を守る取り組み」として、木次線利用促進の一環で「天地の旅」を行いました。組合員、家族、退職者の会合を合わせて29名の参加がありました。細田執行委員に感想など寄せて頂きました。

天地は午前9時30分に宍道駅を出発、1時間50分掛けて出雲横田駅まで運転します。その間は観光ガイドの方の観光案内を聞きながら、車窓からの景色も楽しみました。途中の木次駅では駅の社員の皆さん、観光協会の方々のお出迎えがありました。また地元の楽団の皆さんも演奏でのおもてなしもありました。沿線のあちらこちらで、たくさんの方が手を振って歓迎している姿も見ました。

出雲横田駅に到着後、も鉄道OBの方の歓迎を受けました。天地が地元の皆さんに愛され、また期待されているのだと心底感しました。

6月29日、国労米子地本は「地域公共交通を守る取り組み」として、木次線利用促進の一環で「天地の旅」を行いました。組合員、家族、退職者の会合を合わせて29名の参加がありました。細田執行委員に感想など寄せて頂きました。

7月5日、地方本部にて、業務部長会議を開催してきました。はじめに今年3月実施のダイヤ改正以降の問題点として、米子・鳥取間の特急列車のワンマン化について議論してきました。

梅雨も明けで連日猛暑日が続く中で、適切な車内温度管理が出来ているのか、不正乗車を誘発していないか、列車遅延時の案内放送や乗り換えの確認などに支障が出ているのではないかなど、意見が出されています。

特急列車ワンマン化の検証を

また、支社内のIC化についても未整備な区間がまだまだある。利用者に不便をおかけしていることな報告されています。

そして、利用者から「またですか」とあきらめ声も聞かれるほど続いている倒木や落石による列車遅延対策の必要性についても意見が出されています。

JRとしても決して何もしてないわけではなく、それなりに対策は打たれているように思いますが、まだまだ追いついてないという感じでは



は、ないかと思えます。また、「会社幹部によるパワハラ問題」を含めた安全課題についての意見交換や現在集約中の「2025年労働協約」要求における各級機関での取り組み強化などについて意思統一をしてきたところです。

懇親会は奥出雲町の玉峰山荘に会場を移して行いました。

久々に会う人もいて、昔話から今の職場のこと、家族のことなど話したり、またジャンケンゲームなどで交流し大いに盛り上がりました。この勢いを明日からの運動に繋げて行ければ...と思いました。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。



こんな社会に一体誰がした！！参議院選挙を全力で

去る6月30日、鳥取県連合西部主催の「政策実現に向けた学習会」に参加してきました。

米子地方本部でも何度か講演頂いた「松上隆明」氏が講師をされ、三日後に控えた参議院議員選挙に向け、私たちが何を課題としなければならぬのか！提起を頂きました。

参議院選挙では、物価高対策として給付減税が大きな争点となっていますが、問題は「その後、どういう社会を作りたいのか！」

そのことが語られていないと言われていました。

非正規社員の増加による雇用の不安定化・上がらない賃金・少子高齢化で膨らむ老後の不安・・・こんな社会にしたのはだれか、よく考えて投票しなければと意を強くしました。

米子地方本部推薦の鳥取・島根合区選挙区では、「中山 集」候補を、比例区では「森屋 隆」候補の必勝に向け、各級機関が全力で奮闘して頂くよう要請します。

倉下 文明